

冬特有の厄介者 静電気

静電気が発生する主な原因

乾燥した冬場は静電気が発生しやすくなります

1 乾燥

2 摩擦

3 ^{はくり}剥離

1 乾燥

●湿度が低いと…

発生した静電気が大気中に流れにくくなり、物体の表面にとどまり帯電します。

●湿度が高いと…

大気中の水分が多くなり、電気を通しやすいため、発生した静電気は大気中に流れます。

湿度管理が重要!

一般的な家庭では室内湿度 **50~60%** くらいが理想的です。湿度の上げすぎは、結露やカビ、食物腐敗などの原因になりますので注意しましょう。

2 摩擦

静電気は動かない物質には発生しません。動くことにより物体同士が摩擦しあうと、その接触面で静電気が発生します。

例) 歩いたり動いたりするだけで、体と衣服は摩擦をおこしています。

3 ^{はくり}剥離

剥離（物が離れる）の際にも静電気が発生します。

例) 重ね着した衣服を脱ぐとき、衣服同士が引き離されて静電気がおこります。

身近な発生例

●ドアの金属把手に触れたとき

靴と床面の摩擦で発生した静電気が人体に移り、金属の把手に触れたとき放電するためです。

対処法

- ★ 室内の湿度を高める。
- ★ 把手に布カバーをかけておく。
- ★ 静電気をおこしにくいカーペットや床材を使う。

●自動車に触れたとき、鍵を鍵穴に入れたとき

自動車座席と衣服が擦れて静電気が発生して帯電し、それが車体を通して放電するためです。

対処法

- ★ 湿ったハンカチ、タオルで車のボディの金属部分に触れながら降りる。
- ★ 鍵をドアノブに接触させてから握る。

●髪をとかすとき

髪の毛の乾燥が大きな原因です。髪をとかすときのブラシと髪の毛の摩擦や、髪同士の摩擦により発生します。

対処法

- ★ 髪の毛に少し湿り気を与え、毛先から少しずつ優しくとかす。
- ★ カラーやレイヤーを入れすぎたヘアスタイルは避ける。
- ★ プラスティック性のブラシを避ける。

衣類の組み合わせ



衣類の繊維にはプラスに帯電しやすいものと、マイナスに帯電しやすいものがあります。性質が離れているものを組み合わせて着ると、帯電量が大きくなり、静電気が発生しやすくなります。

Point 重ね着するときには、性質の近いものや帯電しにくい繊維を組み合わせましょう。

合成繊維は避け、麻・綿・革・絹など天然100%の素材がおすすめです。



マイナスに帯電しやすい		帯電しにくい			プラスに帯電しやすい				
アクリル	ポリエステル	フリース	麻	綿	革	絹	レーヨン	ナイロン	ウール

- フリースやナイロン、アクリル、ポリエステルなどの素材は電気を通しにくく、体内に静電気をためこみやすくなります。
- フリース × ウールの組み合わせは静電気がおきやすいので要注意!